

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|-------------------|---------------|----------------|--|--|
| 家計 動向 関連 | 良く なっている | - | - | - |
| | やや良く なっている | スナック（経営者） | 来客数の動き | ・例年同様に、会社の貸切りや接待などで売上は比較的良かった。ただし、個人客からは景気が悪いという話を多く耳にする。 |
| | 変わらない | 百貨店（営業担当） | 来客数の動き | ・例年は婦人ファッションを含め春物の衣料品、インテリア商品などを探すが増えるが、今年は増えていない。来客数、売上共に前年に比べて悪い日が続いている。 |
| | | | スーパー（店長） | お客様の様子 |
| | | スーパー（営業担当） | 単価の動き | ・客はガソリンや食品の値上げに慣れてきている。一品単価が上昇していることから判断して値上げによる買い控えは生じない。 |
| | | コンビニ（経営者） | 来客数の動き | ・客単価が低下しなかったため、来客数の増加がそのまま売上の前年比3%増につながった。 |
| | | 乗用車販売店（経理担当） | 販売量の動き | ・初旬に大型イベントを開催したため、受注ペースは順調に推移していたが、下旬にはペースダウンしている。総受注では前年並みを維持しているが、計画比で1割程度遅れている。ガソリン高騰等の影響が大きい。 |
| | | 住関連専門店（店長） | お客様の様子 | ・商品の下見客は多いが、買上につながらない。今後値上げが予想されるため、客は慎重になっている。 |
| | | 一般レストラン（スタッフ） | 来客数の動き | ・中国の冷凍食品事件によりスーパーの食材、飲食店の原材料等に消費者が厳しい目を持つようになった。しかし、冷凍商品は弁当の惣菜として重宝していたため、一時的にサラリーマンの弁当派が「安全・安心」を確認できる飲食店メニューにシフトした感があり、落ち込みはほとんどなかった。 |
| | | 観光型旅館（スタッフ） | 来客数の動き | ・宿泊単価は前年比105.6%と上昇した。しかし、総売上は館内の消費が落ち込んだため同97.8%と前年実績を若干下回った。姉妹館は総売上上で同92.1%、宿泊単価で同107.9%となったが、館内消費では特に飲料が悪い。 |
| | | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・寒い日や雪の日など冬らしい天候が続き、利用客はあった。また、イベント開催などで人出はあったが、夜の街は週末でも寂しく、諸物価の相次ぐ値上げのせい、交通費の節約ムードが一段と定着した。全体としてはあまり良くない月であった。 |
| | | 通信会社（役員） | 販売量の動き | ・2011年7月の地上アナログ放送停止に向け、ケーブルテレビのアナログ契約のデジタル契約移行を進めているが、国の移行計画に比べ地方ではまだまだ遅れているのが実態である。 |
| | 通信会社（営業担当） | 販売量の動き | ・携帯電話の新機種登場にもかかわらず、販売数が伸び悩んでいる。端末価格が高くなっていることで、客も機種の入替えに慎重になっている。新規契約に関しては携帯電話会社間の競争が激化している。 | |
| | 住宅販売会社（従業員） | 来客数の動き | ・最近、地元ではマンション建設が多くなり、いろんなマンションが選べることや、新聞チラシの量も増えているため、戸建て住宅に目を向ける客が一層減ってきている。 | |
| | やや悪く なっている | 一般小売店〔鮮魚〕（従業員） | 販売量の動き | ・販売量が伸びない。個別に見れば良い客もあるが、全体的には低調である。 |
| 一般小売店〔事務用品〕（営業担当） | | お客様の様子 | ・1月早々に文房具の値上げなどがあり、また古紙含有率問題などが足かせになり、厳しい状態が続いている。 | |
| 百貨店（売場主任） | | 来客数の動き | ・天候の不順もあるが、春物商品に対して客の買い控えが見られる。 | |

| | | | | |
|----------------|-----------------|-------------------|--|---|
| | 百貨店（営業担当） | お客様の様子 | ・雪が積もったり、寒い日が続いたため、客の購買意欲が弱かった。冬物衣料は既に飽きられ、春物は寒さで出足が鈍いなど厳しい状況となり、店頭の婦人服の売上は前年の83%と大苦戦した。 | |
| | 衣料品専門店（経営者） | お客様の様子 | ・消費支出の減少が避けられないなかで、消費者の購買態度はますます慎重になっている。 | |
| | 乗用車販売店（総務担当） | 販売量の動き | ・年間最大の需要期ながら、土・日曜日の来客数が伸び悩んでいる。受注状況も前年を下回り、新型車がそろっているにもかかわらず、低迷している。 | |
| | 自動車備品販売店（従業員） | 来客数の動き | ・例年、動きの悪い時期であるが、今年はいより一層客足が遠のいている。販売促進策を打っているが、春向け商品の買い控えが見られる。 | |
| | 高級レストラン（スタッフ） | 販売量の動き | ・料亭部門は回復の兆しが見えない。特に銀行関係と官庁の利用が激減している。洋食部門は広告などの販売促進により、ようやく低単価ランチの注文が来る程度で、過去1年間で最も厳しい状況である。 | |
| | 都市型ホテル（スタッフ） | 来客数の動き | ・回復しつつあったレストラン利用客数が前年を大きく下回っている。また、宿泊客数も同様に低調である。 | |
| | 旅行代理店（従業員） | それ以外 | ・海外旅行などの料金は表面的には変わらないが、燃油サーチャージなどでびっくりするような別料金があるため、客の旅行意欲を失わせている。 | |
| | タクシー運転手 | 販売量の動き | ・地元の海岸の高波被害でマスコミ関係者のタクシー利用が増えたことや、一時的な降雪で多忙になったこと以外は、夜も含めて静かな月であった。 | |
| | その他レジャー施設（職員） | 来客数の動き | ・週末にかけて雪がよく降り、来客数が激減した。寒い日が続いたこともあって、平日の動きも若干悪かった。 | |
| | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・1、2月は来客数、売上共に前年に比べ大きくダウンしており、景気の落ち込みが心配である。 | |
| | 住宅販売会社（経営者） | お客様の様子 | ・原油高による資材の高騰により、建築価格の上昇傾向が見られる。 | |
| | 住宅販売会社（従業員） | それ以外 | ・展示場への来場者数は前年並みに推移している。しかし、原油高の影響で諸物価が軒並み上昇し、客の消費生活が厳しくなっていることや、春の値上げも厳しいと判断しているためか、商談につながらない。 | |
| 悪く なっている | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・天候の悪い日は入出が極端に少ない。また専門店では、目ぼしい商品があっても衝動買いはなく、何回か来店して更に値段が下がるのを待つという傾向もある。 | |
| | スーパー（店長） | 単価の動き | ・いろんな商品の値上げが一斉に始まり、客は店内で生活防衛のことを口にしてしている。 | |
| | コンビニ（経営者） | 来客数の動き | ・売上が下降し始めてからもう1年になるが、回復の兆しが見られない。商品全体に値上げ傾向が進んでおり、客単価は前年並みに回復しているが、来客数が下げ止まらない。 | |
| | コンビニ（経営者） | お客様の様子 | ・天気が悪く、来客数、売上共に前年比10%以上の大幅悪化となった。子どもの財布のひもも固くなり、10円駄菓子やファーストフードのコロケなど、リーズナブルな商品へ買物がシフトしている。 | |
| | 家電量販店（店長） | 単価の動き | ・主力のAV商品の単価下落が激しく、売上に大きな影響がある。また、買い控え傾向も顕著である。 | |
| | 乗用車販売店（経営者） | お客様の様子 | ・輸入車について客の消費意識は急速に「エコ」へ向かっている。低燃費、低価格、小型化を志向し、何社も見てから購入条件で決める傾向が強くなった。 | |
| 企業 動向 関連 | 良く なっている | - | - | |
| | やや良 くなっている | - | - | |
| | 変わらない | 繊維工業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・製造コストが高くなっているため、需要に見合った数量しか製造できない。仮需が無いため数量減はやむを得ない。 |
| | | プラスチック製品製造業（企画担当） | 受注量や販売量の動き | ・昨年10月以降、受注が減少したまま変わらない状況が続いている。 |
| | 電気機械器具製造業（経理担当） | 受注量や販売量の動き | ・電子部品の在庫調整が始まっており、取引先の決算の兼ね合いもあり、3月まで受注が減少する。ただし、4月以降はある程度回復する見込みである。 | |

| | | | | |
|-----------|-----------|----------------|--------------|--|
| | | 税理士（所長） | 受注量や販売量の動き | ・取引先の精密部品メーカーでは海外を中心とした需要見通しが比較的底固い。また、建設業では確認申請の遅れた分の着工見通しが明るい。 |
| やや悪くなっている | | 食料品製造業（企画担当） | それ以外 | ・自社だけでなく、業界全般に言えることであるが、原料の高騰や供給量の減少及び原油価格の高騰による燃料費、包装資材費、輸送費などの値上がりの影響が収益を圧迫している。 |
| | | 繊維工業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・国内、国外共に市場の動きが良くなく、受注面での厳しさが目立つ。特に数量面では前年に比べ減少している。 |
| | | 精密機械器具製造業（経営者） | 取引先の様子 | ・材料、部品等の仕入先、製品の販売先からの話では、国内における中・高価格帯商品の1、2月の動きは、前年同期に比べ落ち込んでいる。一部の低価格商品についてはそれなりに動いている。 |
| | | 輸送業（配車担当） | それ以外 | ・原油などの高騰が製品価格に上乗せされ、荷物の動きが鈍っている。 |
| | | 輸送業（配車担当） | 受注価格や販売価格の動き | ・雪が比較的少ないため運行面では助かっているが、軽油価格は前年に比べても高く、運賃も上がらない。 |
| | | 金融業（融資担当） | 取引先の様子 | ・原油、仕入材料の高騰が取引先に対して少なからず影響を与えている。 |
| 悪くなっている | | 建設業（経営者） | 取引先の様子 | ・未収入金の管理に注意していたが、2月には対象会社の中から倒産による回収不能の債権が発生した。 |
| | | 建設業（総務担当） | それ以外 | ・鉄骨、鉄筋などの工事資材価格が上昇したため、工事採算が悪化した。 |
| 雇用関連 | 良くなっている | - | - | - |
| | やや良くなっている | - | - | - |
| 変わらない | | 人材派遣会社（社員） | 求職者数の動き | ・年明けから需要件数が増加せず、またスキルを要求される人材探しに苦労している。さらに登録者数も伸び悩み状態である。 |
| | | 人材派遣会社（社員） | 求人数の動き | ・今年に入り求人数の減少が続いており、売上も前年ほどの伸びがなくなっている。 |
| やや悪くなっている | | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | それ以外 | ・求人広告の件数が減少している。企業の広告や人材派遣業の件数の目減りは企業ニーズの実態を物語っている。 |
| | | 職業安定所（職員） | 採用者数の動き | ・有効求職者数に対する就職率が昨年10月以降、下がり続けている。 |
| | | 民間職業紹介機関（経営者） | 求人数の動き | ・紹介、派遣共に求人数が12月以降、前年実績を下回っている。 |
| 悪くなっている | | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | 求人数の動き | ・求人広告の出稿量は前年同月比約15%減少している。 |